

別 編

「鳴門の渦潮」調査研究プロジェクト実行委員会では、令和2年度の発足以来、文化史的な立場から研究をすすめてきた。さらに兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会を構成する「鳴門海峡の渦潮世界遺産登録学術調査委員会」（自然系）のメンバーとも、研究交流を深めることにした。令和4年7月23日、「鳴門の渦潮付近の潮流と淡路島の地形について」というテーマのもと、兵庫県淡路県民局会議室にて研究交流会を開催した。当日は、上嶋英機氏（鳴門海峡の渦潮世界遺産登録学術調査委員会委員・広島工業大学客員教授）と加藤茂弘氏（鳴門海峡の渦潮世界遺産登録学術調査委員会委員・兵庫県立人と自然博物館研究員）にご報告いただき、討論をおこなった。また研究交流会では、「鳴門の渦潮」世界遺産登録学術調査委員会委員長の金田章裕氏から、「世界遺産と天橋立」と題する報告を賜った。各氏に改めて御礼申し上げます。

この別編では、当日の上嶋英機氏のレジメデータをそのまま掲載し、加藤茂弘氏にはご報告内容に沿って、新たに執筆いただいた論考を掲載した。なお上嶋英機氏のレジメデータは、紙媒体の報告書のみに掲載する。